資料第１号

令和5年12月9日

令和５年度　事業報告

月／日	開催	事業・行事・会議名	場所
1/29(日)	○	『新年射会』兼『大島楯争奪支部対抗戦』	明治神宮至誠館弓道場
2/11(土)	○	定時理事会、定時評議員会、運営委員会	オンライン
2/12(日)	○	第32回大学ＯＢ・ＯＧ親善射会	東京武道館
4/2(日)	○	（午後）追悼射会	渋谷区スポーツセンター
4/8(土)	○	運営委員会	オンライン
5/3(祝)	○	京都研修会 定期中央・連合審査 懇親会	京都外大西高校弓道場
6/10(土)	○	臨時理事会、運営委員会	オンライン
6/24(土) 25(日)	○	合宿研修会 臨時中央・連合審査	笹川：土善旅館
6～8月	○	第44回通信射会	各支部にて実施
7/22(土)	○	第12回遠的大会	東京武道館遠的場
8/5(土)	○	臨時理事会、運営委員会	オンライン
10/14(土)	○	臨時理事会、運営委員会	オンライン
10/24(火) 25(水) 26(木)	○	研修会、臨時中央・連合審査 (外国人会員対象)	土岐：久尻神社弦武館
10/28(土) 29(日)	○	創立100周年記念事業 1日目：講演会、祝賀会 2日目：明治神宮奉納演武	(講演会)日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール (祝賀会)帝国ホテル (演武)明治神宮至誠館第二弓道場
11/23(祝)	○	第52回大学対抗懇親射会	東京武道館
12/2(土)	○	（午前）稽古会 （午後）納射会	駒沢オリンピック公園総合運動場
12/9(土)	○	定時理事会、運営委員会	オンライン

事業報告の附属明細書

■新年射会・大島盾争奪支部対抗戦

日時　令和五年一月二十九日（日）十時～一七時

場所　明治神宮至誠館弓道場

新年射会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ここ二年中止となっていました。三年ぶりの開催で、宗家はじめ六十八名が参加しました。

開会式終了後、午前中は本多流四世利永宗家の「巻藁射礼」から始まり、続いて師範会による「繰大前」、その後、参加者による組立が行われました。

午後は支部対抗戦からスタート。今回から新年射会での支部対抗戦は「大島楯争奪戦」と改められ、第一回優勝チームの栄誉をかけて、二〇チームによる白熱した戦いが繰り広げられました。

最後に余興的を行い、寒さ厳しい中ではありましたが、大いに盛り上がった会となりました。

■第三十二回大学ＯＢ・ＯＧ親善射会

日時　令和五年二月十二日（日）十時～十七時

場所　東京武道館

本射会は本多流三世利生（としなり）宗家の発案によるもので、大学を卒業すると弓から離れてしまう方が多い中でも、年に一度は弓を手にする機会として、また弓友との旧交を温める機会を作ろうという主旨のもと、例年春に開催しているものです。

第三十二回となる今回は、三人立一チームとして全十五チーム・四十五名が参加しました。コロナ禍前は一〇〇名を超える一大射会でしたが、今回はいまだコロナ禍の影響もあって、過去に比べれば小規模な射会となったものの、参加者は団体戦・トーナメント戦・個人戦で熱戦を繰り広げました。特にトーナメント戦では出場選手の合計年齢を基準としたハンデキャップがチーム毎に付与される伝統があり、単なる的中を超えた勝負の面白さがありました。

競射のあとは余興的をおこない、参加者相互の親睦を深めつつ、和やかなうちに閉会となりました。

各種成績は以下のとおりです。(敬称略)

【団体の部】

優　勝　名古屋大学弓道部ＯＢ会

準優勝　帝京大学帝弓会Ａ

第三位　生弓会Ａ

【トーナメントの部】

優　勝　京都大学東京反求会

準優勝　東京外国語大学生弦会

【個人の部】

優　勝　名古屋大学弓道部ＯＢ会　櫻井　孝

準優勝　立教大学聖弓会　三浦　智貴

【射技優秀賞】

名古屋大学弓道部ＯＢ会　櫻井　孝

立教大学聖弓会　三浦　智貴

【レジェンド賞】

生弓会　寒川　泰壽

東京大学赤門弓友会　寺部　孝平

立教大学聖弓会　宇佐美　洋佑

■追悼射会

今回の対象者：莖田實氏

日時　令和五年四月二日（日）一三時～十七時

場所　渋谷区スポーツセンター

本射会は永年にわたり本会の運営に貢献された役員等を追悼する目的で開催されるものです。今年度の対象者は一名でしたが、宗家・宗家ご母堂はじめ、ゆかりの方々二十五名が参加し、心のこもった追悼射礼が行われ、故人を偲びました。

■京都研修会　定期連合・中央審査

日時　令和五年五月三日（祝）十時～十七時

場所　京都外大西高等学校　三条グラウンド弓道場

京都研修会は、恒例の日置流竹林派起請文の唱和から始まり、宗家の講話、師範会の演武と続きました。射術、射礼講習は前後に分かれて行われ、射術講習においては宗家自らが案内をされました。

午後からの印可審査は、初めての受審となる二名を含めた五名の方が受審されました。審査終了後は組立が行われ、その後の射術講習では、参加者が閉会時間ギリギリまで弓を引いて案内を受けていました。

今回は海外からの参加者も迎えることができ、合計三〇名の参加者で非常に有意義な研修を行うことができました。

■第四十四回通信射会

日時　令和五年六月～八月

場所　各支部で実施

射数　二〇射

成績　優　勝　遠藤　汰一　　十九中（東京外語大）

　　準優勝　星野　　保　　十六中（洗心洞稽古会）

　　第三位　Werner Lechner　十六中（非会員）

　　第四位　Maksym Mikulski　十六中（非会員）

　　第五位　水島　恒郎　　十四中（埼玉東部）

　　九支部・一六二名参加　詳細別紙

令和５年　第44回通信射会

	支部名	優勝	的中	準優勝	的中	第３位	的中	第４位	的中	第５位	的中	参加人数
1	静心洞	髙山　光	14	飯塚　誠一	9	羽石　幸一	9	深谷美砂子(非)	9	篠原拓夫(非)	8	7
2	洗心洞稽古会	星野　保	16	大槻良雄(非)	10	坂本　武彦	9	松永　芳栄	9	吉村　圭史	9	8
3	東京	杉原　庸介	14	今泉　文雄	13	松村　海沙	11	金子　成人	10	中橋　信子	10	16
4	東京外語大学	遠藤　汰一	19	中村日出男	14	高村宗太郎	14	小宮山浩正	13	村上　英俊	13	38
5	横浜	寺尾義裕(非)	11	守屋　景子	8	永松布美子	6	瀧川　史子	5	伊藤佐江子	4	6
6	埼玉東部	水島　恒郎	14	村上　節子	14	勝俣　俊一	11	堀井　剛(非)	10	栂野　登	10	9
7	埼玉西部	釼持　碩雄	10	西崎　明伸	9	関口　二郎	9	西嶌　紘一	4	野瀬　武博	4	13
8	東海	大村三恵子	13	北原　修	12	谷口　洋子	12	増田由紀子	7	赤塚　正子	7	10
9	欧州	Werner Lechner(非)	16	Maksym Mikulski(非)	16	Alexander Kreil	14	Janusz Surma	13	Martin Lenz	13	55
												162

入　賞　者

総合順位	氏名	(年齢)	的中
優勝	遠藤　汰一	21	19
準優勝	星野　保	57	16
第３位	Werner Lechner(非)	55	16
第４位	Maksym Mikulski(非)	42	16
第５位	水島　恒郎	76	14

※同中の場合は年齢順で決定

【参考】参加支部と参加人数の推移

開催年	参加支部	参加人数
平成30年	１１支部	２２３人
令和元年	１１支部	２４９人
令和2年	中止	
令和3年	６支部	１２４人
令和4年	１０支部	１７９人

■合宿研修会　臨時連合・中央審査

日時　令和五年六月二十四日（土）十二時三〇分から

　　令和五年六月二十五日（日）十四時まで

場所　笹川・土善旅館

コロナ禍により令和元年以来、四年ぶりに同地での開催となり、北は北海道、南は台湾まで、四十七名が参加しました。

初日は師範会からの講話「案内について」「十分に矢束を取る意義」に始まり、さっそく射技・射礼研修が行われました。特に、今年は本会創立一〇〇周年であり、秋に「創立一〇〇周年記念射会　明治神宮奉納演武」が予定されていることから、会員各自の演武に向けた研修が入念に行われました。

また射学研修として、同じく創立一〇〇周年記念事業の一環として発刊を開始する『本多流叢書』第一期五巻の製作進捗状況と内容の解説がなされました。

射技研修では、師範会メンバーを中心に熱心な案内が行われ、参加者もそれに応えるかのように、時間一杯、真剣に稽古に打ち込みました。

その一方で、余興的も間に挟み、楽しく弓を引く事も大切にしています。

二日目は師範会メンバー、指導員による各種射礼の模範演武ののち、初日に続いて各自射技・射礼研修に励みました。その間、別射場では印可審査が行われ、進境に応じて三名に印可が許されました。

梅雨時期ではありましたが、両日とも晴天に恵まれ、参加者は熱心に、また楽しく弓を引き、充実した夏のひと時を過ごしました。

■第十二回遠的大会

日時　令和五年七月二十二日（土）十時～十六時

場所　東京武道館

射数　二〇射

参加十一名と少人数の大会となりましたが、夏の一日、さわやかな汗を流しました。

成績　優　勝　高橋かおる　十中（洗心洞稽古会）
　　準優勝　吉村　圭史　九中（洗心洞稽古会）
　　第三位　吉田　隆一　八中（東京）
　　第四位　飯野雄一郎　八中（赤門）
　　第五位　綾戸　岩雄　六中（洗心洞稽古会）

■第五十二回大学対抗懇親射会

日時　令和五年十一月二十三日（祝）十時～十六時

場所　東京武道館

この射会は、流祖本多利實翁以来の伝統である学生への弓道普及ならびに学校弓道の振興を目的として、主に関東地区で本多流とゆかりの深い大学に参加を呼びかけ、毎年開催しています。

今回は十五校七十五名の選手が参加し、五人立各人八射計四〇射での競射が行われました。団体では優勝・準優勝・第三位、個人では皆中賞・射技優秀賞を表彰することとしています。また競射後には金的・扇的などの余興で、深まる秋の晴天のもと、一日弓を楽しみました。

【出場校】（五十音順）

國學院大學、国際武道大学、国士舘大学、駒澤大学、城西大学、大正大学、大東文化大学、帝京大学、東京大学、東京海洋大学、東京経済大学、東京農業大学、獨協大学、日本大学、
日本女子大学

【団体】

優　勝　国際武道大学　三十一中

準優勝　日本大学　　三〇中

第三位　獨協大学　　二十二中

【個人】

皆　中　賞　道下叶夢選手（国際武道大学）

射技優秀賞　佐藤智輝選手（東京経済大学）
　　轡田怜子選手（国士舘大学）

■納射会

日時　令和五年十二月二日（土）十三時〜十六時

※午前中は自由稽古会

場所　駒沢オリンピック公園総合運動場

参加者二十四名は宗家臨席のもと組立射礼、その後、宗家・師範会による真剣な射技案内やお楽しみの余興的も用意され、晴天にも恵まれて晴れ晴れとしたなかで今年一年を締め括りました。

以上

一般財団法人本多流生弓会

貸　借　対　照　表

令和5年12月31日現在　　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金	115,182	166,873	△ 51,691
預金	10,451,719	5,012,481	5,439,238
棚卸資産	231,075	245,453	△ 14,378
前払費用			
預け金			
流動資産合計	10,797,976	5,424,807	5,373,169
2　固定資産			
(1)基本財産			
文庫書籍	1,000,000	1,000,000	0
預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	4,000,000	4,000,000	0
(2)特定資産	0		0
特定資産合計			0
固定資産合計	4,000,000	4,000,000	
資産合計	14,797,976	9,424,807	5,373,169
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
前受金	63,000		63,000
預り金			0
流動負債合計	63,000		63,000
負債合計	63,000		63,000
Ⅲ　正味財産の部			
1　指定正味財産			
民間寄付金	1,000,000	1,000,000	0
2　一般正味財産	13,734,976	8,424,807	5,310,169
前期繰越正味財産	8,424,807	8,390,009	34,798
当期正味財産増減額	5,310,169	34,798	5,275,371
正味財産合計	14,734,976	9,424,807	5,310,169
負債及び正味財産合計	14,797,976	9,424,807	5,373,169

監　査　報　告　書

一般財団法人**本多流生弓会**

理事長　　本多　利永　殿

一般財団法人**本多流生弓会** 定款第12条及び第29条の規定により、監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、理事会その他重要な会議に出席し、必要に応じて説明を求め、職務執行の状況を調査しました。また、令和５年の事業報告及び計算書類（収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録）等について検討しました。

その結果、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められず、前記事業報告及び計算書類等の内容は適正なものと認めます。

以上を証明し、記名捺印して監査報告とします。

令和６年２月17日

一般財団法人**本多流生弓会**

監事　　青江　純平

監事　　恒川　敦宏